



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月8日

上場会社名 アイビーシー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3920 URL <https://www.ibc21.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 裕之
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス本部長 (氏名) 松本 一彦 (TEL) 03-5117-2780
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の業績 (2024年10月1日～2025年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	1,655	—	393	—	404	—	283	—
2024年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	51.17	—
2024年9月期第3四半期	—	—

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期第3四半期 15百万円 2024年9月期第3四半期 14百万円

(注) 2024年9月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、前期において連結子会社である株式会社サンデーアーツの事業譲渡に伴い、重要性が乏しくなったことから、連結の範囲より除外し、2025年9月期第1四半期会計期間より非連結決算に移行しました。そのため、2024年9月期第3四半期の経営成績 (累計) 及び対前年四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	3,387	2,143	63.3
2024年9月期	3,240	1,905	58.8

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 2,143百万円 2024年9月期 1,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2025年9月期	—	6.00	—	—	—
2025年9月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,410	15.3	540	40.4	550	39.1	390	69.4	70.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期3Q	5,751,600株	2024年9月期	5,723,600株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	194,159株	2024年9月期	194,159株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期3Q	5,541,016株	2024年9月期3Q	5,529,441株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(持分法損益等)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済を取り巻く環境は、堅調な企業業績を背景に設備投資は持ち直しの動きが続いており、インバウンド需要の回復、雇用・所得環境の改善など、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、為替相場の変動等によるエネルギー価格・原材料価格の高騰や、長期化するロシア・ウクライナ情勢、中東情勢の地政学リスク、中国経済の不動産市場の停滞、米国の通商政策など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

企業においては、少子高齢化・生産年齢人口の減少、働き方の多様化等を背景に、デジタル技術の急速な進展やそれに伴う法制度の改正が行われるなど、デジタルトランスフォーメーション(DX)の流れは加速しており、あらゆる産業において、業務効率化・競争力強化を図るためのIT投資は、今後も引き続き拡大していくことが見込まれております。

このような状況下、ワークライフバランスの改善や生産性向上を目的に、場所を選ばない働き方への対応が進むなか、クラウドサービスを利用する企業の割合は増加し続けており、複雑化するIT基盤の運用管理は大きな課題となっています。当社では、その課題を解決する糸口となるマルチクラウド&インフラ構成管理ツール「ITOGUCHI」

(2025年10月頃リリース予定)を開発いたしました。「ITOGUCHI」は、マルチクラウド、マルチベンダーインフラの複雑なインフラ構成を自動で検知し、接続構成まで詳細に描画してインフラ全体像を一目で把握できると共に、常に最新情報を維持して、構成情報の世代管理も行うことが可能です。お客様は、煩雑な手動の構成管理から解放され、最新の構成情報から設備更新や投資の最適な運用計画を行うことができ、さらに、当社の主力製品である障害予防型監視ソリューション「System Answerシリーズ」と連携することによって、従来の運用管理の概念を変えるインテリジェント・マネジメントを実現できると考えています。なお、2025年6月に幕張メッセで開催されたインターネットテクノロジーの国内最大級のイベントである「Interop Tokyo2025」にて「ITOGUCHI」を初めて紹介したところ、来場されたお客様からは、マルチクラウドにおける運用管理の効率化が可能になる等のお声をいただき、大変好評でした。また、マルチクラウドとオンプレミスを併用しているシステム環境においても、「ITOGUCHI」はその両方を管理できることから確かな顧客ニーズがあることを把握できたため、「System Answerシリーズ」に続く主力製品となるよう目指してまいります。

当社グループは、ソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。ソフトウェア・サービス関連事業の内、当社におけるITシステム監視関連に関わる売上区分別の業績は以下の通りです。

ライセンス販売およびその他物販においては、2024年12月より実施しているSystem Answer G3の値上げに加えて、アップセル・クロスセルや他社からの切り替えによる新規案件の獲得が堅調に推移し、売上を伸ばすことができました。サービス提供においては、前年同期比では減少となりましたが、例年並みの水準の売り上げとなりました。その結果、ライセンス販売については売上高911,831千円(前期比24.6%増)、サービスの提供については売上高442,328千円(前期比5.0%減)、その他物販等については売上高301,204千円(前期比13.7%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は1,655,364千円、営業利益は393,063千円、経常利益は404,142千円、四半期純利益は283,514千円で増収増益となりました。また、通期の業績予想は、利益率の高いライセンス事業の伸長等により、さらなる増益を見込む内容へと修正しています。

当社は、2022年9月期より配当を開始し、増配を継続しており、今後とも継続して株主の皆様への積極的な利益還元を明確にするために累進配当を導入しました。当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項としており、今後の業績の推移や財務状況などを考慮し、また、将来の事業展開のための内部留保等を総合的に勘案しながら、累進配当を継続して実施することで、株主の皆様への積極的な利益還元に取り組む方針です。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、3,387,965千円(前会計年度末は3,240,080千円)となり、147,884千円増加しました。これは主に、現金及び預金が536,898千円増加した一方で、売掛金が441,551千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,244,700千円(前会計年度末は1,334,807千円)となり、90,106千円減少しました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金が50,018千円、買掛金が59,948千円、未払金が72,471千円、それぞれ減少した一方で、未払法人税等が72,470千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、2,143,264千円(前会計年度末は1,905,273千円)となり、237,991千円増加しました。これは主に、利益剰余金が228,076千円、その他有価証券評価差額金が1,515千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日付「2025年9月期第2四半期（中間期）決算短信」で公表した2025年9月期通期業績予想を下記の通り修正いたします。

2025年9月期 通期業績予想（2025年10月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,400	百万円 450	百万円 482	百万円 358	円 銭 64.58
今回修正予想(B)	2,410	540	550	390	70.33
増減額(B-A)	10	90	68	32	-
増減率(%)	+0.4%	+20.0%	+14.1%	+8.9%	-

(業績予想との差異及び修正の理由)

2025年9月期通期業績の期初予想は、過去最高売上、最高利益としておりましたが、さらに上回る見通しとなりました。米国の通商政策等の影響が不透明な状況ではありましたが、お客様のIT投資への影響は少なく、これまでの当期各四半期において、当社主力製品である「System Answerシリーズ」の更新率が95%以上と堅調に推移するとともに、大型商談の獲得がありました。一方、サービス提供の売上は減少するものの、利益率の高い「System Answerシリーズ」を主体とするライセンス売上が伸長することにより、営業利益は前回予想を90百万円上回る540百万円を見込んでおります。経常利益、当期純利益については、営業利益の増加により、経常利益は前回予想を68百万円上回る550百万円、当期純利益は前回予想を32百万円上回る390百万円となる見込みです。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,926,216	2,463,114
売掛金	660,181	218,630
棚卸資産	34,085	25,413
前払費用	24,826	22,977
その他	23,529	25,406
流動資産合計	2,668,839	2,755,542
固定資産		
有形固定資産	31,676	28,846
無形固定資産		
ソフトウェア	24,349	37,014
ソフトウェア仮勘定	20,886	52,144
無形固定資産合計	45,235	89,159
投資その他の資産		
投資有価証券	169,866	172,050
関係会社株式	43,301	43,301
保険積立金	162,847	182,748
繰延税金資産	35,208	34,539
その他	83,105	81,776
投資その他の資産合計	494,328	514,416
固定資産合計	571,240	632,422
資産合計	3,240,080	3,387,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,095	65,146
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	50,018	-
未払金	146,204	73,733
未払費用	39,111	24,004
未払法人税等	34,026	106,497
未払消費税等	39,772	32,559
契約負債	91,554	104,956
リース債務	928	936
その他	6,605	36,078
流動負債合計	1,333,316	1,243,912
固定負債		
リース債務	1,491	787
固定負債合計	1,491	787
負債合計	1,334,807	1,244,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	443,230	447,430
資本剰余金	438,952	443,152
利益剰余金	1,221,447	1,449,523
自己株式	△221,114	△221,114
株主資本合計	1,882,515	2,118,991
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,758	24,273
評価・換算差額等合計	22,758	24,273
純資産合計	1,905,273	2,143,264
負債純資産合計	3,240,080	3,387,965

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,655,364
売上原価	354,270
売上総利益	1,301,094
販売費及び一般管理費	908,031
営業利益	393,063
営業外収益	
補助金収入	15,248
受取手数料	505
その他	323
営業外収益合計	16,078
営業外費用	
支払利息	4,999
その他	0
営業外費用合計	4,999
経常利益	404,142
特別利益	
関係会社清算益	2,788
特別利益合計	2,788
税引前四半期純利益	406,930
法人税等	123,416
四半期純利益	283,514

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

前第3四半期累計期間(自2023年10月1日至2024年6月30日)については、連結業績を開示していたため、記載しておりません。また、当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)
減価償却費	27,518千円

(持分法損益等)

	当第3四半期累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)
関連会社に対する投資の金額	16,861千円
持分法を適用した場合の投資の金額	75,752千円
持分法を適用した場合の投資利益の金額	15,345千円

(セグメント情報等の注記)

当社は、ソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。